

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換 (有料) してください。
- お買い求めの際には、製品の品番をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
(ホームページでのご購入は下記の「ホームページのご案内」参照)

部品名 (P.1「各部のなまえ」参照)	部品番号
コップ	BB671001L-△△
中せん (せんパッキンつき)	S81-6B
せんパッキン	BB640025M-00
ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル (10g×4包入り)	SB-ZA01

△△表示は部品色柄番号です。
お求めの際は製品の色柄まで
ご指定願います。

(底面シールに表示)

<表示例>

SJ-JS08-BA ←色柄

- 中せん・せんパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- 中せんなどの樹脂は食品衛生上安全な材料を使用していますが、ザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換 (有料) してください。
- 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後5年間です。
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせてください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせてください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター



0120-345135

携帯・PHS OK

※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日 (祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ
.....TEL (06) 6356-2451 (有料)
- FAXでのお問い合わせ.....FAX (06) 6356-6143 (有料)
製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」
をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただきます場合がございますのでご了承願います。

■ホームページのご案内

象印マホービン お客様サポートサイト <http://www.zojirushi.co.jp/toiawase/>

象印マホービン株式会社



家庭用

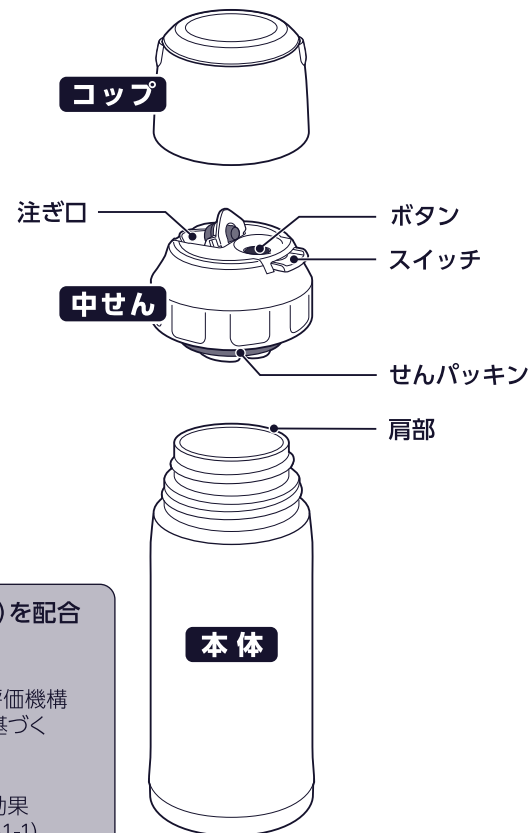
取扱説明書

ステンレスボトル
SJ-JS 型

ご使用前に必ずお読みください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

●ご使用ごとに各部品が取りつけ
られていることをご確認ください。

各部のなまえ



コップは銀イオン (Ag⁺) を配合
したAg⁺抗菌加工です。

試験機関：一般財団法人
ボーケン品質評価機構

試験方法：JIS Z 2801に基づく

抗菌の方法：Ag⁺

抗菌の対象部分：コップ

試験結果：99.9%の抗菌効果

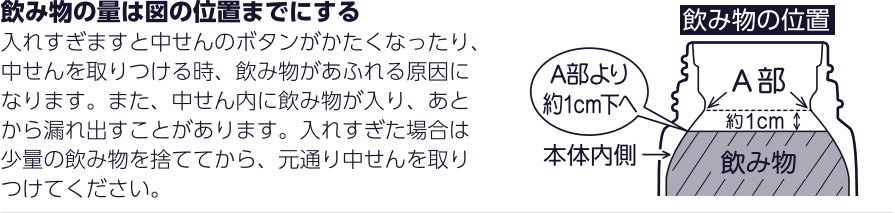
(試験番号 20215002351-1)

●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、やけどや飲み物の 変質・変色や製品の故障・汚れを防ぐために、次のことは必ずお守りください。

乳幼児の手の届くところには置かない。 また、いたずらには十分注意する やけどやけがなど危険です。	保温性能が低下した製品は使用しない 熱い飲み物を入れると本体外側が熱くなり、 やけどの恐れがあります。
飲み物はその日のうちに飲みきる 腐敗の原因になります。また長時間放置した 場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の 圧力が上がり、中せんをはずすときに中せん が飛んだり、飲み物がふき出たり、中せん・ コップなどが破損して飛散することがあり 危険です。	缶やビンなどを本体に入れない 変形し、故障の原因になります。
電子レンジでの加熱はしない 火花が飛び危険です。 また、変形や変色の原因になります。	飲み物の保温・保冷以外に使用しない 飲み物を入れての保温や保冷を目的とした ものです。
ストーブやコンロなど火のそばに 近づけない 変形や変色の原因になります。	自動車走行中は飲まない やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因に なります。また運転者の場合、運転への注意 が散漫となり、非常に危険です。
本体外側の底に貼っている 底シールは絶対にはがさない さびや穴あきなど故障の原因に なります。	中せんは確実に取りつけて使用する。 また使用後はスイッチを押し、 注ぎ口を閉める 漏れてやけどなどの恐れがあります。
コップ・中せんを持って運ばない 落とすと危険です。	改造や分解修理はしない 故障や事故の原因になります。
使用後はすぐに本体内側をよく洗う さびや穴あきなどの故障や腐敗の原因に なります。	本体内側のフッ素樹脂コーティングを 傷つけない 傷がつくと、さびや穴あきなど故障の原因に なります。
飲み物の量は図の位置までにする 入れすぎますと中せんのボタンがかたくなり、 中せんを取りつける時、飲み物があふれる原因に なります。また、中せん内に飲み物が入り、あと から漏れ出すことがあります。入れすぎた場合は 少量の飲み物を捨ててから、元通り中せんを取り つけてください。	傾けた状態や、顔などの近くでボタンを 押さない 飲み物が急に出たり、飛散するなど、やけど の恐れがあります。



直火（ガス台など）や電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に載せない 火災・故障の原因になります。	中せん・せんパッキンは必ずつけた状態で使用する 漏れてやけどなどの恐れがあります。 また汚れの原因になります。
次の物は絶対に入れない ●ドライアイス・炭酸飲料など 本体内の圧力が上がり、中せんが開かなかったり、圧力によっては飲み物がふき出たり、中せん・コップなどが破損して飛散することがあり危険です。 ●みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの 本体内側は、ステンレスにフッ素樹脂コーティングを施しておりますが、さびたり、保温・保冷性能が低下する原因になります。 ●牛乳・乳飲料・果汁など 成分が腐敗することがあります。また長時間放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、中せん・コップなどが破損して飛散することがあり危険です。 ●果肉・お茶の葉など 詰まる、漏れるなど故障の原因になります。	

熱い飲み物を入れた場合 ●飲み物を注ぐときはゆっくり傾ける 飲み物が勢いよく出てやけどの恐れがあります。 ●本体を振らない やけどやけがなど危険です。 ●飲む際にやけどの恐れがあるので注意する 断熱効果により、熱い飲み物を入れても本体外側は熱くなりません。 ●直接飲まずに、必ずコップを使用する やけどなど危険です。 ●本体内の圧力が上がり、中せんをはずす際にかたくなることがあります。 そのときはボタンを押したあとに、中せんをはずしてください。 無理に中せんをはずすと中せんが飛んで、やけどやけがの恐れがあります。

お手入れの際は次のことを守る ●シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザー・メラミンスポンジなどは、使用しない 製品を損傷する原因になります。 ●塩素系漂白剤は使用しない さびや穴あき(本体内側)など故障の原因になります。 ●煮沸はしない。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない 傷やさび・変形など故障の原因になります。 ●丸洗いできますが、つけ洗い（水中に放置）はしない

ご注意とお願い

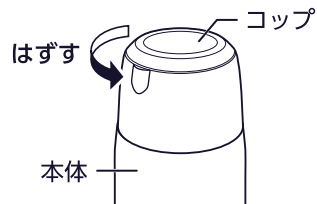
熱いやかんを肩部に触れさせない 転倒してやけどなどの 危険があります。 また傷や変形の 原因になります。	落とす・ぶつけるなど強い衝撃を与えない 樹脂部分が破損したり、ステンレス表面がへこみ、保温・保冷性能が低下することがあります。
	使用後は必ず中せん・せんパッキンをきれいに洗う 腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因になります。また飲み物が漏れる原因になります。
本体の絵柄をつめや固いもので ひっかいたり、こすったりしない はがれる原因になります。	製品専用の部品以外は取りつけない 漏れや故障の原因になります。
氷が大きくて入らない場合は、 あらかじめ小さく砕いてから入れる 無理やり押し込んだり、たたいたりすると、 変形し、故障の原因になります。	洗浄した中せんに、水が残らないよう 数回振り、十分ふき取る 残ったしずくが漏れてくることがあります。
熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わります。お出かけの時は、ティーバッグなどのご利用をおすすめします。	保温時に、コップの内面に水滴がつく（結露する）場合がありますので、 ご注意ください。

使い方

●ご使用前にコップ・中せん・本体内側・本体外側を、お手入れ方法に従って十分に洗ってください。

1 本体からコップ・中せんをはずす

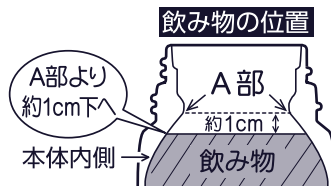
コップ・中せんを矢印の方向に回し、はずします。



2 飲み物を入れ、中せんを取りつける

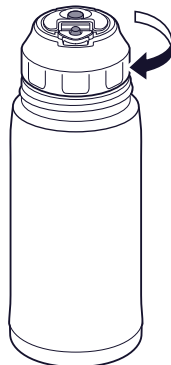


あらかじめ本体内側に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)により効果的です。



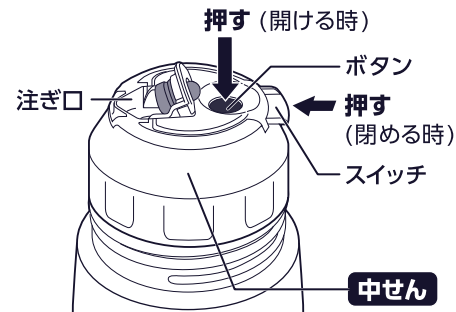
中せんを矢印の方向に回し確実に取りつけます。

- せんパッキンが正しく取り付けられていることを確認の上、ご使用ください。
(飲み物が漏れる原因になります。
P.7「せんパッキンの取り付け方」参照)
- 中せんは本体を立てた状態で、確実に取りつけてください。
- 注ぎ口は確実に閉めてください。
- 本体を逆さにして漏れないことを確認してください。
漏れた場合はP.9「Q&A」参照



3 飲み物を注ぐ

- ①飲み物を注ぐ場合は、本体を立てた状態で中せんのボタンを矢印(↓)の方向へ押し、注ぎ口を開ける
- ②本体を傾け、注ぎ口より飲み物を注ぐ
- ③注いだあとは、本体を立てた状態でスイッチを矢印(←)の方向へ押し注ぎ口を閉める



- 熱い飲み物を注ぐときはゆっくりと傾けてください。
(飲み物が勢いよく出てやけどの恐れがあります。)

飲み物を注いだあと、本体を傾けた状態で、中せんの注ぎ口を閉めると中せん内に飲み物が残り、あとから漏れ出して衣類やバッグなどが汚れる原因になります。また、コップの内側にも飲み物の「しずく」が残ることがあります。飲み物の漏れによる汚れを防ぐため、次のことをお守りください。

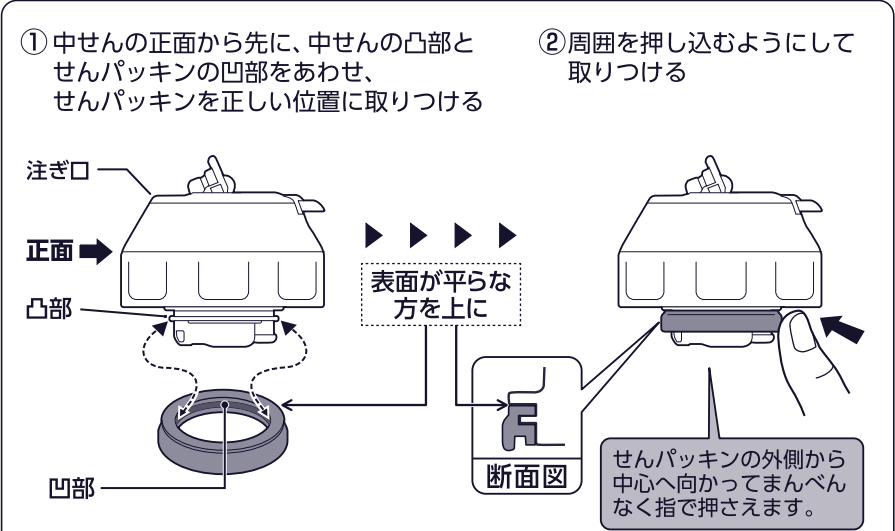


- 飲み物を注いだあとは、本体を立てた状態で2～3秒たってから、注ぎ口を閉めてください。
- コップの内側に残った「しずく」は、振り切ったあと、よくふいてください。
- バッグなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために本体を縦に置いてください。



せんパッキンの取り付け方

- 中せんは分解しないでください。
- せんパッキンは、正しく取り付けてください。
(作動不良・飲み物が漏れる原因になります。)



間違った取り付け方

- 正しく取り付けないと飲み物が漏れる原因になります。

正しい位置に取り付けてください。

上下を間違わないようご注意ください。

お手入れ

●においや汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にご使用 いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

- 必ず分解してからお手入れをしてください。

本体外側 コップ 中せん

- ①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う
- ②すすぎ洗いのあと、数回振り、水気をふいてよく乾燥させる

- 中せんはせんパッキンをはずしてから洗ってください。
- 中せんは注ぎ口(右図)もきれいに洗ってください。
- 洗にくい部分は市販の小型ブラシなどで洗ってください。

本体内側

- ①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を、柄(え)のついた柔らかいスポンジブラシなどに含ませて洗う
- ②すすぎ洗いのあと、水気をふいて乾燥させる

- 常にお手入れをしていただきますと、においの付着を防ぎ清潔に使用していただけます。

お手入れ時の注意

- 煮沸はしないでください。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。
- 本体外側は、漂白剤を使用しないでください。
本体の塗装、印刷、シールがはがれる原因になります。
- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザー・メラミンスポンジなどは、使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 丸洗いができますが、つけ洗い(水中に放置)はしないでください。
- 本体を丸洗いしたあとは、必ず水分をふき取るようにしてください。
水滴のあとやさびが発生する原因になります。
- 長時間ご使用にならない場合は、ぬるま湯が水で十分洗い、よく乾燥させて高温・多湿を避け保管してください。
製品を損傷する原因になります。

赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10% 加えた湯を入れ、中せんを取りつけずに30分～1時間置いたあと、本体内側をよく洗ってください。(P.8、9「お手入れ」参照)

茶しぶなどのお手入れ

本体内側や中せんにこびりついた茶しぶなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗剤 **ピカボトル**」をご利用ください。(別売品)(P.10参照)
●ピカボトルを使用する場合は、中せんを本体からはずしてください。

症 状	原 因	処 置
中せんから 飲み物が漏れる	中せん・せんパッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	せんパッキンの取り付け位置や方向・浮きがないことを確認してください。 (P.7「せんパッキンの取り付け方」参照)
	中せん・せんパッキンが汚れていませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れしてください。(P.8、9「お手入れ」参照)
	飲み物を入れすぎていませんか。	少量の飲み物を捨て、正しい量にしてください。(P.2 飲み物の位置 参照)
飲み物(本体内側・中せん)がにおう	飲み物を長時間入れたままにしたり、本体内側・中せんやパッキン類に茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はピカボトルをご利用ください。 (P.8、9「お手入れ」参照)
保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲み物を入れていませんか。	十分に熱い(冷たい)飲み物を正しい位置まで入れてください。予熱(予冷)するとより効果的です。 (P.5「2 飲み物を入れ、中せんを取りつける」参照)
中せんのボタンを押したときに「プシュッ」と蒸気が出た	熱い飲み物を入れたとき、内部の空気が温められて膨張し、内圧が上がるために起こる現象です。熱い飲み物を入れたあとは、注ぎ口を開けたまま中せんを取りつけ、しばらく(約20秒)おいてから注ぎ口を閉めてください。	
製品を振ると「シャカシャカ」という音がする	保温/保冷効果を高めるために、本体内部に入っている銅箔(アルミ箔)がこすれて出る音です。異常ではありません。	